



財団法人 竹中大工道具館
TAKENAKA CARPENTRY TOOLS MUSEUM

竹中大工道具館 平成23年度「技と心」講演会

職人と語る

屋根のはなし

撮影 / 安藤邦廣

日時 2011年10月16日(日) 14:00~16:30

場所 ラッセホール大会場 (神戸市中央区・竹中大工道具館より徒歩1分)

今年の「技と心」講演会は「葺く」展の開催を記念し、植物性の屋根に詳しい安藤邦廣先生と3人の若手茅葺き職人をお迎えします。茅葺きをはじめとした植物屋根の魅力、材料確保や技術継承の課題、そして今後の植物屋根のありかたについて語っていただきます。



〔定員〕先着250名・入場無料

〔語り手〕安藤邦廣(筑波大学教授・建築家)、塩澤実(茅葺屋)、中野誠(美山茅葺株式会社)、山田雅史(山城萱葺屋根工事)

「語り手」プロフィール

安藤 邦廣

1948年宮城県生まれ。1973年九州芸術工科大学卒業。1982年筑波大学芸術学系講師を経て1998年より筑波大学芸術学系教授。著書に、『茅葺きの民俗学』(はる書房)、『住まいの伝統技術』(建築資料研究社)、『住まいを4寸角で考える一板倉の家と民家の再生-』(学芸出版社)、『民家造』(学芸出版社)、『小屋と倉』(建築資料研究社)など。

塩澤 実

1972年神戸市生まれ。神戸芸術工科大学在学中に茅葺き民家保存に関わり、卒業後京都美山町にて修行。英国の茅葺き職人技術向上プログラムへの参加などを経て2001年「茅葺屋」設立。関西を中心に茅葺き職人として活動する傍ら、市民参加の茅葺き体験会「カヤカル」等の開催を手掛ける。

中野 誠

1968年京都美山町生まれ。高校卒業後、地元の農協へ就職。1989年、茅葺き職人になることを決め、美山の茅葺き職人に弟子入り。以後茅葺き一筋。1996年独立。2007年に美山茅葺株式会社を設立。現在社員7名で伝統の技を継承している。

山田 雅史

1968年京都市生まれ。建築専門学校卒業後、建築の現場監督業務に3年間従事。その後家業のヨシ屋に戻り茅材販売に励むも、茅葺き職人が高齢化によって減少する状況に、自身が職人になることを決意。家業の傍ら修行を開始。現在「山城萱葺屋根工事」として5人の弟子、文化企画担当1名と共に、全国の屋根葺きに没頭中。

平成23年度竹中大工道具館企画展

葺く

草と木で つくる屋根

ROOFING WITH THATCH,
BARK AND WOODEN SHINGLES

自然と共生する循環型社会の構築が求められる今、本展では環境にやさしい草と木でつくる屋根に焦点をあて、その伝統技術を振り返ります。草でつくる「茅葺き」、ヒノキの樹皮を重ねる「檜皮葺き」、薄く割った板を重ねる「柿葺き」を中心に、それぞれの材料、道具、実物大の屋根模型、そして映像を用いて、茅や檜皮などの材料が屋根となるまでの過程をわかりやすく紹介します。植物屋根の魅力を肌で感じていただければ幸いです。



檜皮葺きの材料 (全国社寺等屋根工事技術保存会提供)



茅葺きの道具 (個人蔵)



檜皮葺き実物大模型 (竹中大工道具館蔵)



茅葺きの棟仕舞 (茨城) 撮影/安藤邦廣



柿葺きの道具 (個人蔵)



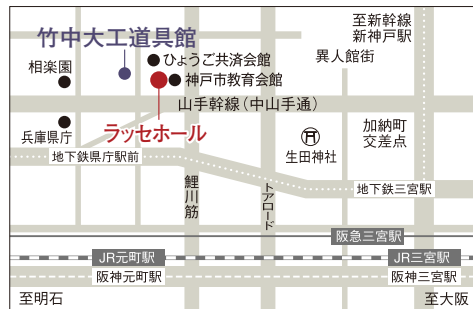
檜皮葺きの様子 (映像)

会期 2011年10月8日(土)~11月27日(日)

会場 竹中大工道具館

〔休館日〕月曜日(祝日の場合は翌日) 〔開館時間〕9:30~16:30(入館は16:00まで)
〔入館料〕一般:300円(65歳以上100円)/大学・高校生:200円/中・小学生:100円
〔アクセス〕JR・阪急・阪神「三宮駅」徒歩18分、JR・阪神「元町駅」徒歩10分
地下鉄「県庁前駅」徒歩5分、新幹線「新神戸駅」タクシー10分

詳細情報は公式サイトでご確認下さい。公式サイト <http://dougukan.jp/fuku>



財団法人 竹中大工道具館
TAKENAKA CARPENTRY TOOLS MUSEUM

問い合わせ

竹中大工道具館 (TEL)078-242-0216 (URL) <http://dougukan.jp>
〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-18-25



●主催・企画:財団法人竹中大工道具館 ●共催:一般社団法人日本茅葺き文化協会、公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会
●協力:園城寺、賀茂別雷神社、茅葺屋、京都府教育委員会、鶴林寺、岸田工業株式会社、滋賀県教育委員会、富山県西部森林組合、公益財団法人文化財建造物保存技術協会、美山茅葺株式会社、株式会社村上社寺工芸社、有限会社屋根惣、山城萱葺屋根工事、重要文化財若宮八幡宮保存会(加東市) ●後援:神戸新聞社